

彩^{あや}なす首里の織物

◆監修……………日本女子大学教授
小笠原小枝

◆企画……………財団法人 ポーラ伝統文化振興財団

◆製作……………株式会社 桜映画社

◆撮影協力

宮平初子
ルバース吟子

伊野波盛正(琉球藍製造)
沖縄県立博物館
那覇市歴史資料室
沖縄県立芸術大学

首里城公園管理センター
沖縄戦記録フィルム 1フィート運動の会
東京国立博物館
日本民藝館



◆カラー・40分

◆販売価格(消費税別)

VHS 50,000円(団体使用権付)

16ミリ 290,000円

「彩なす首里の織物」によせて

日本女子大学教授 小笠原小枝

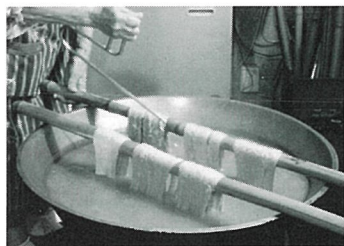
沖縄では布が仕上がることを「生まれる」という。この「布が生まれる」という言葉には伝統織物のすべてに通じる実感がある。宮平初子さんの製作も意匠図の構想にはじまり、糸染・整経・機こしらえ、そしてやっと「本」本の緯(よこ)糸を通して織り進められる。こうしたいくつもの工程と長い時間を費やして織り上げられる布の完成には、まさに「生まれる」という表現がぴったりと当てはまる。そして同時にそれは現在の日常に溢れる、高度な先端技術によつて工場から吐き出される織物とは線を画する対照的な存在である。

この映像では布が生まれる過程を宮平さんの人柄とともに、沖縄の自然を交えて丁寧に追いかけていく。

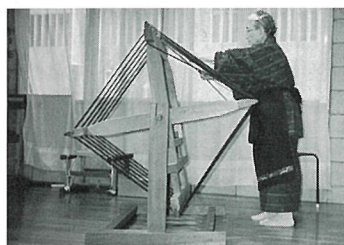
首里の花織りには七種の技法があるといわれるが、それは平織りをベースとした文様織りの基本であつて、その組み合わせによつてさまざまなヴァリエーションが加わる。また、花織りにはそれぞれに首里独自の呼称が付けられているが、それらと同じ技法は中国南部の少数民族や、タイラオスの村々に今も残っている手機の技法にも見出すことができる。そこに、かつて海上交易の拠点としてさまざまな文物を集め融合させた琉球王国の面影が浮かび上がる。

そうした首里の各種の伝統織物に独自の工夫を重ね、手機で可能な限りの紋織を追究した宮平初子が彩なす首里の花織。それは宮平さんの心とともに織の基本を、そして織物本来の大切な役割や意味を改めて私たちに問いかける。この映画はそんな作品に仕上げられたと思う。

あや 彩なす首里の織物 宮平初子



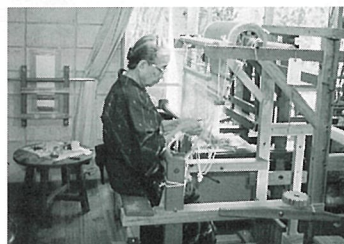
①
植物染料
福木(ふくぎ)で
糸を染める



②
整経



③
花織のための
花綜統づくり



④
花綜統に
経(たて)糸を
通す



⑤
花織を織る

〔宮平初子〕プロフィール

大正11(1922)年、沖縄県那覇市に生まれる。

沖縄県立女子工芸学校で工芸・染織を学ぶ。また、柳宗悦を知り、上京して日本民藝館や柳の工房等で織や植物染料による染色技法を学んだ。昭和16年帰郷後、母校に勤務するかたわら、戦前の首里の織物の技法を幅広く習得した。

太平洋戦争によって首里全域は焦土と化した。同氏はその荒廃の中から首里の織物の復興に尽くし、伝統的な首里の織物の技法・表現の研究を重ね、技の練磨に努めて、その技法を高度に体得した。

同氏は、花倉織を中心に首里の織物7種類の技法のすべてに精通し、その伝統技法を基に現代感覚を盛り込んだ優れた作品を国展、日本民藝館展、沖縄などに発表し、高い評価を得ている。

また、同氏は、昭和45年に宮平工房を開設し、同49年から沖縄県指定無形文化財「本場首里の織物」の保持者として、伝統的な首里の織物技法の伝承の中心となって多くの後継者を得ている。

平成10年、重要無形文化財「首里の織物」の保持者(人間国宝)に認定された。

◇製作スタッフ

製作=村山正実/山本孝行

監督・脚本=村山正実

撮影=西山東男

撮影助手=今野聖輝/新藤多門

照明=本橋俊男

編集=吉田栄子

ネガ編集=加納宗子

選曲=山崎 宏

録音=堀内戦治/荒井富保/アオイスタジオ

効果=帆刈幸雄

タイトル=菁映社

現像=イマジカ

語り=杉本るみ

沖縄・伝統のわざと心を伝える

―連帯の手わざ― ◆芭蕉布を織る女たち 30分

毎日映画コンクール教育文化賞
芸術祭優秀作品賞 文部省選定 他

VHS=25,000円(一般価格)
40,000円(ライブラリー価格)
16ミリ=180,000円

◆芹沢銈介の美の世界 35分

教育映像祭優秀作品賞
芸術祭大賞 文部省選定 他

VHS=25,000円(一般価格)
55,000円(ライブラリー価格)
16ミリ=210,000円

◆人形作家 秋山信子 38分 ―心やすらぐ人形を―

教育映像祭優秀作品賞
文化庁優秀映画賞 文部科学省選定 他

VHS=20,000円(一般価格)
50,000円(ライブラリー価格)
16ミリ=270,000円

*表示価格は消費税別の価格です。

◎製作

株式会社 桜映画社

〒151-0051 東京都渋谷区千駄ヶ谷4-20-1 千駄ヶ谷ビル4階

TEL.03-3478-6110 FAX.03-3478-5966 <http://www.sakuraeiga.com>